年度 2009 学期 前期	曜日・校時 木 4校時	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	英語コミュニケーション III (English Communication III)		
対象年次 2年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等)	2Le	科目分類	外国語科目(英語)
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 藤本 ゆかり /研究室: 非常勤講師控室 /TEL: 095-819-2078(全学事務室) /オフィスアワー: 授業終了後			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい: 基本的で実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。話すことと聴くことの技能を身に付ける。ダイアログの暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。語彙を増やし、文法を理解し表現の感覚を磨く。対話を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。</p> <p>授業方法: ダイアログの詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことによって、ダイアログを容易に覚えらるようになる。発音の練習をし、表現を声に出して言う。声に出すことで覚えたダイアログを使用してみる。リスニングの指導を行う。派生語・適語選択・会話表現の問題を解き、解説を行う。</p> <p>授業到達目標: 基本的・実用的な英会話の表現を覚え、話すことができる。語彙力を増強することができる。英語の構文・文法・表現について理解を深めることができる。美しい発音ができ、リスニングの能力を養う。表現を声に出して述べるができる。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。適語選択問題により、語彙を増やし、文法を身に付け、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。学生生活に関する日常会話を通して、ダイアログの背景や英米の文化の理解を深めることができる。また、各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。</p>			
<p>授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要) 日常生活及び学生生活に密着したテーマを中心とした、普遍的な状況の中で交わされる、親しみやすいダイアログについて、CD を聴きながら、主要な表現・構文・文法の指導を行う。構文や文法を理解することが、会話での表現の習得においても、容易にして有効であるというアプローチで進めていく。英単語の発音の仕方を指導し、練習を行う。文全体の発音についても指導と練習を繰り返し行い、定着を図る。さらに、ダイアログの表現を言えるように練習し、覚え、ひいては話す能力を養う基礎を固めていく。また、話す能力と聴く能力は表裏一体であるという認識に基づいて、リスニングの方法を説明し、実践してみる。スピーキング、リピーティング、リスニングの練習を繰り返し充分に行う。ダイアログの背景について解説する。英会話とコミュニケーションに対する意欲を持てるように指導していく。</p>			
<p>第1回 導入・授業内容の説明 Topics 1. 2.</p> <p>第2回 Topics 3. 4. 5.</p> <p>第3回 Topics 6. 7. 8.</p> <p>第4回 Topics 9. 10. 11.</p> <p>第5回 Topics 12. 13. 14.</p> <p>第6回 Topics 15. 16. 17.</p> <p>第7回 Topics 18. 19. 20.</p> <p>第8回 Topics 21. 22. 23.</p> <p>第9回 Topics 24. 25. 26.</p> <p>第10回 Topics 27. 28. 29.</p> <p>第11回 Topics 30. 31. 32. 33.</p> <p>第12回 Topics 34. 35. 36. 37.</p> <p>第13回 Topics 38. 39. 40. 41.</p> <p>第14回 Topics 42. 43. 44.</p> <p>第15回 まとめと定期試験</p>			
必ず予習をして授業に臨んで下さい。必ず単語の意味を調べ、問題を予め解いておきましょう。毎日繰り返し練習し、復習を行うことが、学習効果を上げる為に重要です。			
キーワード	普遍的な状況の中で交わされる英会話のダイアログ・多彩なトピックス		
教科書・教材・参考書	A shorter course in situational conversation 『英語会話』 (赤川裕 著: 南雲堂) 英和辞書(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等	定期試験を筆記で行います。 主に定期試験の得点により評価します。それに授業中の活動を加えます。 定期試験90%、授業中の発表や活動10%を基準とします。 また、受講中の態度を非常に重視します。		
受講要件(履修条件)	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。 必ず予習をして臨んで下さい。		
本科目の位置づけ /学習・教育目標	有用な日常会話を学び、役立てる。 定型的な会話文を定着させる。		
備考(準備学習等)	必ず予習をして授業に出席して下さい。 予め英単語の意味を調べておき、問題を解いておきましょう。		